

薄暗い影に包まれた部屋で机の前に座る4人の子どもたち。遊んでいる途中でしょうか、机の上には紙や積み木のようなものが置かれています。

本市出身の作者・水流添耕（1937-）は、美術教諭として都城西高校などで後進の育成に尽力し、国内外で作家として活躍する人材を育てました。展示会での積極的な作品の発表や県内公募展での数々の受賞とともに、運営委員にも携わるなど、長年、県の美術発展に寄与してきました。

我が子らをモデルに描いた本作。「子どもたちの未来に対する漠然とした不安感を表現しようとした」と水流添は語ります。作家の心象風景として描かれた本作には、不透明な未来を生きていく愛する子どもたちの姿を通して、人々が内在的に抱く不安が静かに表現されています。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎ 25-1447

「子供」 水流添 耕 作（1972年）



History exploration | 歴史探訪！

沖水古墳出土の経筒

平安時代後期以降は、貴族政治の衰退や武士の台頭、天災、治安の乱れなどにより社会不安が増大。仏教の正しい教えが形骸化するという末法思想が貴族から庶民まで広まりました。その影響から、現世利益や追善供養などを願って、法華経などの経文を経筒に入れて塚に埋める行為が始まりました。

市内では5カ所で経筒が出土していて、本資料は昭和49年に早水町の沖水古墳で中国製の湖州鏡や玉とともに発見。総高24.1cm、口径5.4cm、筒身の中央部に二重突帯が巡る2段造りの形状で、宝珠形のつまみのある傘蓋（あきだま）が特徴です。底板はなく、ともに出土した湖州鏡の鏡面を上向きにして、その上に経筒を置いていたと考えられています。

また、本地域では経筒の外容器として軽石が多く用いられていて、本資料も始良カルデラ起源の入戸火砕流堆積物の軽石を加工した容器に入れられていました。

平安時代後期以降の社会情勢と当時の仏教信仰の様相を今に伝える本資料は、都城歴史資料館で展示中です。



◎問い合わせ 文化財課 ☎ 23-9547

都城島津 伝承館 だより

僧智恵申状案

「僧智恵申状案」(東京大学史料編纂所蔵)

島津荘は、平安時代の万寿年間（1024-1028）、都城市域にあったとされる日向国島津駅周辺を中心に成立しました。大宰府の役人であった平季基が開発し、万寿3（1026）年に関白の藤原頼通に寄進して成立したとされていて、本史料はその経緯を示す数少ない古文書の一つです。

建暦3（1213）年に僧侶の智恵が書いた本史料は、本市と曾於市の境目付近にあった門貫山という土地をめぐり、地頭による横暴を止めてほしいと訴えたもの。この土地は、平季基の子・兼輔が大宰府から呼び寄せた竹林房（ちくりんぼう）に与えたもので、先祖代々相続してきた経緯を説明し所有の正当性を主張しています。

文中には、季基が島津荘を誕生させたことを意味する「御庄（島津荘）建立主平大監季基朝臣」という記述があり、季基が島津荘の立荘に深く関わっていたことを示しています。

本史料は、11月23日（月）まで開催の特別展「都城島津氏の歩みと新『都城市』」で展示中です。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎ 23-2116

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.74

吉田醸造
ケンコー食品工業株式会社

☎ 23-6041



無添加のみそやしょうゆなど

昭和47年に創業し、長年にわたり地域の食卓を支え続けてきたケンコー食品工業株式会社。みそ・しょうゆを中心に発酵食品の製造・販売を手がける老舗企業です。

「子どもに安心して食べさせられるものを作りたい」という創業者の思いを引き継ぎ、2代目として安心安全な商品の製造を続けている代表取締役の吉田努さん。就任後、原材料を輸入に頼らずに自ら確保できる方法を模索していた時に出会ったのが、都城在来種「みやだいず」です。生産者とJA・自社が一体となった



代表取締役 吉田 努さん

全量買取の仕組みを構築。生産者が安心して生産できる環境を粘り強く整え、普及にも力を注いでいます。「都会のメーカーに勝る部分は、地元で生産された安全な農作物を地元で加工できること」と吉田さんは力強く語ります。現在みやだいずは豆腐店や菓子店など市内の多くの事業者採用され、その名は着実に広がっています。

また、無添加で安心安全なものを子育て世帯に使ってもらいたいという思いから、しょうゆやみやだいずからできたみそなどの自社製品を、18歳までの子どもがいる世帯に対して割引価格で提供する取り組みも続けています。

「地域の農業と食が共に元気であってこそ、まちが豊かになる」と語る吉田さんは、生産者・加工業者・消費者がつながる小さな循環を広げながら、これからも都城の食文化を守り続けます。

今月の読者プレゼント



炭火焼きスベアリブ（300g）1食 10人

プレゼント提供者

ワッキーズダイナー
WAKKY'S DINER(上町4-9) ☎ 77-7206

同店自慢のオリジナルソルトで味わうスベアリブ。溢れるジューシーな肉汁と絶妙な塩気が相性抜群。肉本来の旨味を味わえる店主おすすめの一品です。豪快にかぶりつく、幸福感たっぷりの体験をぜひ。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、11月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 11月30日（月） 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙1月号
- ◎9月号当選者 ここたくさん 他9人
- ◎9月号応募総数 503通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます



お待ちしております！ 読者のお便り

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

- ①氏名、②フリガナ、
- ③ペンネームまたはイニシャル、
- ④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号

▶点線に沿ってお切りください